

『広報 AI』に「調査データ分析機能」を10月1日より追加！

Excel データをアップロードするだけで分析・グラフ生成まで10分で完了

複雑な分析プロンプトは不要！

生成機能にも「調査・研究」「提携・アライアンス」カテゴリ追加で、広報担当者の業務を大幅に効率化

メタリアル・グループの株式会社ロゼッタ（本社：東京都千代田区、代表取締役：五石 順一）が提供する、メディアに掲載されやすいプレスリリースを生成・採点可能な AI エージェント搭載『広報 AI』に、2025 年 10 月 1 日（水）、新たに「調査データ分析機能」を追加しました。

本機能により、ユーザーはアンケートや調査結果の Excel ファイルをアップロードするだけで、データの可視化、インサイトの抽出、調査リリース作成用の素材生成をワンストップで行うことが可能となり、調査リリース作成業務を大幅に効率化できます。

また、プレスリリース生成機能についても、「調査・研究」「提携・アライアンス」に関するプレスリリース生成に対応できるようになりました。

\ 調査データの分析から調査リリースの切り口提案までサポート！ /

『広報AI』新機能アップデート

1

UPDATE

調査結果データの分析機能が追加

アンケートや調査結果のデータをアップロードするだけで、

データの可視化 ・ インサイトの抽出 ・ 調査リリース作成 のための

素材生成を行います。

2

UPDATE

「調査・研究」「提携・アライアンス」に関する
プレスリリース生成に対応

調査リリースや企業提携に関するプレスリリースなど、
より幅広いシーンでご活用いただけます。

◀ 広報 AI

『広報 AI』特設ページ <https://www.kohoai.com>（無料トライアル実施中）

報道関係者各位

■調査リリース作成の課題を AI で解決

アンケート調査などを実施した後、結果からプレスリリースの構成やグラフを組み立てる作業は、多くの広報担当者にとって最も時間がかかる工程の一つです。また、一般的な生成 AI ツールで時間短縮したいと考えても、どの分析手順を指示すればよいか分からず、結果として十分な分析が行えません。

このたび『広報 AI』に追加した「調査データ分析機能」は、複雑な分析ステップを内部でプロンプト処理しているため、ユーザーが調査で収集されたそのまのローデータをアップロードするだけで、3つの観点で分析結果（グラフや解説）が出力され、簡単に調査リリースの作成準備をすることができます。

また、プレスリリース生成機能にも「調査・研究」「提携・アライアンス」カテゴリを追加。「調査データ分析機能」で生成されたサマリ文書や、提携に関する概要を生成機能に入力するだけで、「調査・研究」「提携・アライアンス」に関するプレスリリースの初稿を生成できるようになりました。

『広報 AI』は今後もユーザーの現場ニーズをもとに機能強化を続け、忙しい広報担当者の業務効率化と質の向上を支援してまいります。

【調査データ分析機能の主な特徴】

① インサイト抽出

分析の目的や注目してほしい観点を指示するだけで、AI が自動でデータを分析。グラフと解説を3パターン生成し、調査リリースの切り口を提示します。グラフや解説は Word ファイルでダウンロードできます。

調査結果のExcelをアップするだけで



Excelデータ例

調査項目	回答数	割合	コメント
Q1. 貴社の製品/サービスについて、最も印象に残っている点は何ですか？	15	100%	製品の品質の高さ、カスタマーサポートの丁寧さ、価格の合理性が挙げられます。
Q2. 貴社の製品/サービスを利用する際の最大の課題は何ですか？	12	100%	導入コストの高さ、学習コストの負担、既存システムとの連携が課題として挙がっています。
Q3. 貴社の製品/サービスに対する今後の期待はありますか？	18	100%	新機能の追加、価格の引き下げ、より柔軟なカスタマイズが期待されています。

データ分析

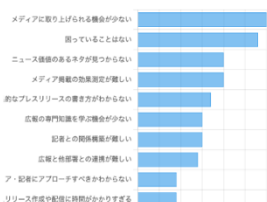
3つの

分析結果

・
インサイト

を提案

広報業務全般の困り事 (q3)



解説1

このグラフは、広報担当者から集めた「困り事」の分布を示しています。最も多い課題は「メディアに取り上げられる機会が少ない」で30人が選択しており、次いで「困っていることはない」28人、「ニュース価値のあるネタが見つからない」と「メディア掲載の負担が大きい」がそれぞれ20人でした。プレスリリース作成や配信に関する物理的な負担（10人）よりも、ネタの発掘や成果の可視化といった企画・戦略的課題に悩む担当者が多く、量よりも質や成果にフォーカスした支援のニーズが高いことがデータから読み取れます。全体の29%は課題がないと回答しているものの、残り7割以上の苦悩が明らかになった結果をみており、中でも「メディア露出」と「ネタ探し」は市場機動的な主要なポイントと言えるでしょう。

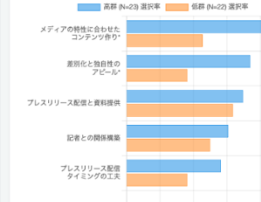
ストーリー作り (q1-q2)



解説2

4つのクラスから、広報担当者の課題意識は明確に分化していることが分かります。最も多いのは「手取りの若手・実務広報」(クラス3、34%)で、広報歴3年未満が85%超、基礎知識や手法の習得に大きなハードルを感じている様子が、書き方 (82.4%)、学習機会 (75.5%)、メディア露出 (70.6%) に集まる高い悩み頻度率から見てとれます。また、「広報業務のマルチタスク化」(クラス4、28%)は、中層層が1.8人平均という少人数体制下でリリース・業務負荷 (75.0%) や効果的な情報発信に直面しています。「戦略志向のベテラン広報」(クラス2、21%)は、効果測定 (81.0%) や関係者との連携 (81.9%) といった意思伝いの課題が顕著で、実務面での悩みはそれほど多くありません。一方で「自己解決型の熟練広報」(クラス4、17%)は顕微鏡的な課題がほとんど見られませんが、ペルソナ設定やサービススタートの明確化、関係すべき組織の優先順位決定の観点として十分な、長期的な差別性あるセグメント定義が得られました。

掲載のための工夫 (q12) の選択率比較



解説3

本分析から、メディア掲載率の高い広報担当者は「メディアの特性に合わせたコンテンツ作り」(選択率87.0%、低確率45.5%、 $p=0.003$)や「差別化と独自性のアピール」(選択率73.9%、低確率36.4%、 $p=0.017$)を戦略的に実践していることが明確に示されました。特に「独自性・新しさ」の重要度を意識した行動へ反映していることが、最大の成功要因であるといえます。また、活動量 (リリース本数) や組織的リソース (担当人数)、広報経験も高確率で上位を示しており、機会創出と質の高い広報施策を支える土台となっています。一方、記者との関係構築は成果に一定の寄与はするものの、上記2項目ほどの決定力は見られませんでした。結果上には「独自価値を明確化し、メディア特性に最適化する戦略的発信」の実践が不可欠というインサイトが得られます。

◀ 広報 AI

■ 本件に対するお問い合わせ

株式会社メタリアル 広報：松本

〒101-0051 東京都千代田区神田神保町3丁目7番1号

Email: pr@metareal.jp <https://www.metareal.jp/contact/>

報道関係者各位

② 調査リリース作成補助

抽出した分析結果をもとに、調査リリース初稿作成用のサマリ文章を自動生成。広報 AI のプレスリリース生成機能にコピー＆ペーストするだけで、すぐに調査リリースの初稿作成が可能です。

調査リリース
生成時の入力情報

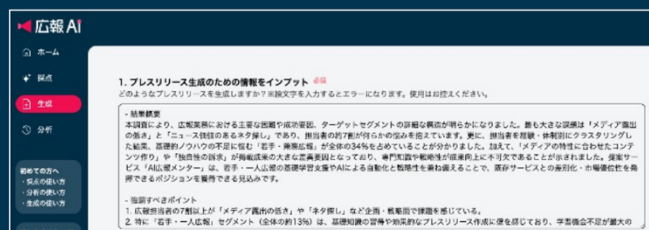
調査リリース生成時の入力情報

-結果概要

本調査により、広報業務における主要な課題や成功要因、ターゲットセグメントの詳細な傾向が明らかになりました。最も大きな課題は「メディア露出の低さ」と「ニュース価値のあるネタ探し」であり、担当者の約7割が何らかの悩みを抱えています。更に、関係者を信頼・修飾的に構築した結果、基礎的なノウハウの不足に悩む「若手・営業広報」が全体の34%を占めていることが分かりました。加えて、「メディアの特性に合わせたコンテンツ作り」や「独自性の訴求」が掲載成果の大きな差異要因となっており、専門知識や経験性が成長向上に不可欠であることが示されました。調査サービス「AI広報メンター」は、若手・一人広報の基礎学習支援やAIによる自動化と経験性を兼ね備えることで、既存サービスとの差別化・市場優位性を確保できる見込みです。

-課題すべきポイント

1. 広報担当者の7割以上が「メディア露出の低さ」や「ネタ探し」など企画・戦略面で課題を感じている。
2. 特に「若手・一人広報」セグメント（全体の約13%）は、基礎知識の習得や効果的なプレスリリース作成に苦労しており、学習機会不足が最大の障壁となっている。
3. メディア掲載実績を上げている担当者も、「メディア特性への最適化」や「独自性アピール」を重視した戦略的な工夫をしている点も、成功の決定的要因である。
4. 知識の習得や発信力の向上によって、迅速な課題解決やサポートが期待できることが明らかになった。
5. 「AI広報メンター」はAIによる自動化だけでなく、広報戦略・基礎学習・品質向上を一体で支援可能な、他にないソリューションを確立できる。
6. 新規集客の若手・一人広報を主ターゲットに加え、OTM戦略が効果的であり、IT系・経済メディアを通じた訴求が効果的となる。

そのまま広報AIの
「プレスリリース生成機能」に
入力するだけ調査リリースの初稿が
出来上がり！

「プレスリリースのメディア掲載率 10%以下」が 6割
【広報 100 人に聞いたプレスリリースのお悩み実態調査】
～掲載されない理由は「ニュース価値不足」～
効果的な情報発信に必要な「3つの要素」とは？～

メディアに掲載されやすいプレスリリースを生成。届くまで「広報 AI」を駆使する株式会社メタリアル（本社：東京都千代田区、代表取締役：長谷川一樹）は、2025 年 9 月、広報業務を担当する 20 代～40 代の関係者 100 名を対象に、プレスリリースに関するお悩みを明らかにするアンケート調査を行いました。その結果、広報担当者の約 6割が「プレスリリースの掲載率 10%以下」という課題にお悩みを抱えていることがわかりました。

広報担当者のプレスリリースの
お悩み実態調査

＜調査背景＞
近年、SNS やメディアの多様化により、企業の情報発信の機会が増加する一方で、広報業務の負担も拡大しています。特に、メディア露出につながるプレスリリースの作成は広報担当者にとって重要な業務でありながら、効果的な発信が難しいという課題があります。
そこで、広報業務を担当する 20 代～40 代関係者 100 名を対象に、プレスリリースについて具体的などのような悩みを感じているのか、アンケート調査を実施しました。

■ 本件に対するお問い合わせ先
株式会社メタリアル 広報部 長谷川 一樹
〒101-0051 東京都千代田区神田神保町 3 丁目 7 番 1 号
Email: pr@metareal.jp <https://www.metareal.jp/contact/>

MetaReal

③ インタラクティブ表示

生成されたグラフは UI 上で閲覧可能。カーソル操作やグラフ内の凡例選択によりグラフを動的に変更させることができ、データ理解をサポートします。

▶ 2 分でわかる分析機能に関する動画はこちらをご覧ください。 https://youtu.be/raGiYx9q_co

■ 忙しい広報担当者のための頼れる相棒『広報 AI』とは？

『広報 AI』は、現場の広報担当者の声をもとに開発され、プレスリリース採点機能と生成機能を備えています。採点機能は、特許取得技術でプレスリリースの内容からメディア掲載の可能性をスコア化し、プレスリリースの質を高めることができます。生成機能は、簡単な概要文を入力するだけで、豊かな表現力と訴求力のあるタイトルや本文を自動生成。初稿作成の手間を大幅に削減します。

■ 本件に対するお問い合わせ

株式会社メタリアル 広報：松本

〒101-0051 東京都千代田区神田神保町 3 丁目 7 番 1 号

Email: pr@metareal.jp <https://www.metareal.jp/contact/>

報道関係者各位

■『広報 AI』 利用方法

PC やスマートフォンの Web ブラウザからご利用いただけます。

1. 広報 AI 特設サイト (<https://www.kohoai.com>) から新規登録（無料トライアルあり）
2. プレスリリースの採点・生成・分析機能の利用

※法人プランご希望の方はお問い合わせください。 <https://www.kohoai.com/#contact>

■本件に関するお問い合わせ

メタリアル・グループは、高い技術力を活かして一般的な AI とは差別化を図った業界特化型 AI の開発を推進し、幅広い分野への展開を目指します。プレスリリース生成や AI の個別開発にご興味のある方は、ぜひお問い合わせください。

- ・ 広報 AI 特設サイト：<https://www.kohoai.com>
- ・ AI 個別開発のお問い合わせ先：contact@metareal.jp

■メタリアル・グループについて

「世界中の人々を場所・時間・言語の制約から解放する」を企業ミッションとし、翻訳市場において国内市場シェア No.1 に位置している。（出典：ITR「ITR Market View：対話型 AI・機械学習プラットフォーム市場 2024」 翻訳市場：ベンダー別売上金額シェア（2024 年度予測））

法務・医薬・金融・化学・IT・機械・電気電子など、2,000 分野に対応。顧客ごとの課題解決・未来創造を目的とした完全カスタマイズ AI 開発サービスを提供している。

AI 開発実績：翻訳 AI、四季報 AI、広報 AI、製薬会社向け AI、ゲームローカライズ AI 等

社名： 株式会社メタリアル
URL：<https://www.metareal.jp/>
所在地： 東京都千代田区神田神保町 3-7-1 ニュー九段ビル
代表者： 代表取締役 五石 順一
設立： 2004 年 2 月
事業内容： 業種特化の専門文書 AI の企画・開発・運営
お問合せ先：pr@metareal.jp

■株式会社ロゼッタについて

国内最大の AI 翻訳リーディングカンパニーとして培った 6,000 社以上の顧客基盤と技術力を基に、製薬・製造・法務・特許・金融等の各業界に特化した専門文書作成に貢献する AI サービスを提供している。

主力サービス：専門用語に強い高精度 AI 翻訳「T-400」

（特徴）

1. 生成 AI×専門翻訳を実現。常に進化する翻訳プラットフォーム
 2. 精度 95%を誇る超高精度の自動翻訳
 3. 専門 2,000 分野・100 言語をカバー
 4. 国内サーバーによる最高水準のセキュリティ
 5. スキャン画像 PDF も丸ごと翻訳
 6. 個社の社内用語を自動で翻訳結果に反映
- その他に、製薬業向け生成 AI ソリューション「ラクヤク AI」、議事録&翻訳 AI ツール「オンヤク」などのサービスを提供。

■ 本件に対するお問い合わせ

株式会社メタリアル 広報：松本
〒101-0051 東京都千代田区神田神保町 3 丁目 7 番 1 号
Email：pr@metareal.jp <https://www.metareal.jp/contact/>



報道関係者各位

社名： 株式会社ロゼッタ
URL： <https://www.rozetta.jp/>
代表者： 代表取締役 五石 順一
事業内容： AI 翻訳および専門文書 AI の開発・運営